



はじめに

ときがわカンパニー(同)代表の、関根雅泰です。

月1~2回の頻度で、この「ときがわカンパニー通信」を発行し、活動の様子を、皆さんと共有できたらと考えています。どうぞよろしくお祈りします。

左の写真は、ときがわ町役場本庁舎前にある「ときがわ町起業支援施設 ioffice」です。

ときがわカンパニー合同会社がやっていること

ときがわカンパニー合同会社は、2016年1月に設立されました。

設立目的は、「ときがわ町に、人が集まり、仕事が生まれる」状態を創ることです。

そのために、「仕事を自ら創り出せる」ミニ起業家を支援し、彼らが活躍する事で、ときがわ町や近隣地域に、どんどん新たな仕事が生み出され、人が集まってくるような状態を創れればと考えています。皆さんのご支援よろしくお祈りします。



比企起業大学「活動報告会2024」を開催しました



左: 途中退席、オンライン参加の方もいたので数が減ってしまいましたが、最後にみんなで撮った集合写真。HIKIポーズ。右: 託児をする、22春生のなごーら。お母さんも安心して参加できました。 撮影: 風間さん、ユカさん、関根



比企起業大学・大学院 総長の関根です。2024年9月22日(日)13時45分~16時15分@ときがわ町活き生き活動センター&Zoomで、比企起業大学「活動報告会2024」を開催しました。リアル参加者11名、オンライン参加者(見逃配信含む)8名でした。

1 オープニング (13時45分~)

風間学長の進行でスタート。参加者の自己紹介と活動報告会への期待をお話頂きました。

2 比企起業大学「IRレポート」のお披露目

清田さん: デザイン、レポート素敵です!

風間学長: レポートのデザイン・制作は、大学院7期生の藤原あいかさんにお祈りしました。



▶ 関根から「IRアンケート分析結果」の報告

* * *

清田さん:

このプロセスをしっかりとカスタマージャーニーマップにビジュアライズして整理できるとさらにいいですね! 皆さんも文章ベースよ

りイメージが湧くと思います! 「どこのプロセスで、どういう行動変容があったのか?」「どういうプロセス、どの時間軸で、どういう科学反応が、比企起業大学のメンバー間で起きたのか?」を体系化して整理できると、これからの比企起業大学としての再現性が出来て、より、入塾した人が理想的な状態に向かっていく上での独自のノウハウや知見が溜まっていくと思います! ナオさんに塾生の属性ごとに、カスタマージャーニーマップを作ってもらいましょう!

3 比企大メンバーの活動報告&事業PR

▶ 金井さん (比企大23秋)

「比企起業大学に入って/今後に向けて」自ら「伝説のプレゼン」と銘打って始まったプレゼン。資料無しで口頭でのお話。

清田さん:

独立しようと決断できた理由は、何が1番影響を与えたか? 不安はなかったですか? どう不安を乗り越えました? という、キョちゃんからの質問に答える金井さん。「他の先輩達が、楽しそうにやっている姿を見られたのが大きかったですね」とのこと。

▶ 山口直さん (比企院3期)

「木の地産地消」

直前まで、iofficeにこもって、プレゼン資料の見直しをしていた山なおさん。「ときがわ町で、定期的に伐採している人って、何人ぐらいいると思います?」問いかけに悩む参加者。正解は、「3人以下」だそうです。



Oさん:

大変面白い取り組みだと思いました。西川材と比べ、エリアによって山の手入れが行き届いている場所と荒れているエリアが見受けられるように思いますが、主に個人の山主さんの山が対象なのでしょうか?

清田さん:

以前に地産地消で、天然の芳香剤「森col on」という芳香剤をを神奈川県と開発してましたので、ときがわ町ならではの商品開発を、このメンバーみんなで共創したら面白いなと思いました! クラファンとかもありですね。

▶ 神山さん (比企大23秋)

「トカイナカハウスの今後」

自転車で駆けつけてくれた神山さん。小6の時に、作文教室で神山さんと出会ったという女性が、一緒に聴講してくれました。

清田さん:

電通と関わったプロジェクトが参考になりそうです! (https://www.dentsu.co.jp/news/release/2020/1102-010269.html) スコップ・スクールは、クリエイションスキル、コミュニケーションスキル、コンプライトスキルの3つからなる「実践的創造力」を開発。親を巻き込んだ自然リトリートなどもニーズがあるな! (https://danro-dialogue.com/oyakoretreat) (https://note.com/danro_dialog/n/n936c918b147f)



久保田ナオさん(比企院1期生)がグラレコを描いてくれました。ありがとうございます!

以前に現地に行きましたが、里山でこういったサービスもいいな! 「原っぱ大学 | 大人と子どもの遊びの学校」(https://harappa-daigaku.jp)

清田さん:

こんなサービスがあるんですが、医者さん、学者、先生、色んな方々に対して子供達がインタビューしてキャリアの選択肢に活かして学ぶなど、良いな! (https://fukusen.org/work-interview-2)

Oさん:

ご無沙汰しております。大変面白い取り組みだと思います。問題点として、継続的な活動となるのか参加者の方が定着していただけるのか、今後の方向性を教えていただけますでしょうか?



4 比企ら迎まるごとキャンパス化計画の紹介

関根: 「比企起業大学が、100年続いたために…」というテーマで、熱く語りました。100年続いたために必要な3つの要素。本(教科書)、人(学習者)、箱(建築物)。100年後に向けた挑戦が始まっています!

清田さん:

あとは、本は文章(ストーリー)として、絵画、写真(風景や人)も残ると思いますね!

サクラダファミリアにみたいに、いつまで

も完成しない建造物を作り続けているのも、面白いですね! 箱(人と場所がある限り)いつまでも完成しない建築物。

20世紀の課題は「貧困・戦争・病気」で、21世紀の課題は「孤独・退屈・不安」と言われています! それを解決する一つの要素が「熱狂」で、その手段としてお祭りは良いと思いますね!

「日本の祭りをアップデートする」をコンセプトに、これから僕たちは日本中のフェスや祭りの場から感動を生み出し、孤独や退屈や不安を減らす、とBreakingDown COOの溝口さんが新しいイベントを開催してます!

さっきのXDのお祭りのイベントは、風間ゆかさんにも参考になると思います!

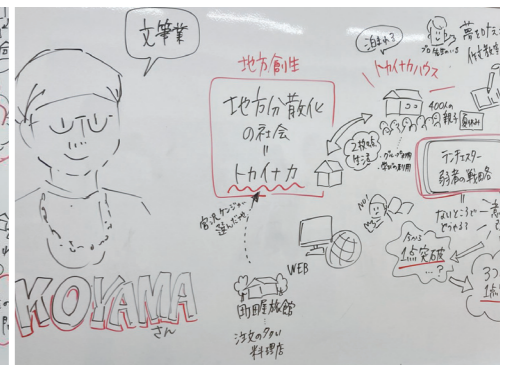
Oさん:

「丸太看板の件」爆笑しました! 丸太看板は起業された方の記念に、店舗前に設置するのもいいのではないのでしょうか? 起業塾(現・比企起業大学大学院)の成果としても意味があるのでは? 比企ら辺を愛する皆さんの気持ちが伝わってきました! 学びのある街づくり、素敵です。

参加者からのフィードバックで、「丸太看板を、●●●にするのは、ちょっと・・・」と、率直なご意見を頂きました。確かに、おっしゃる通りなので、急遽、方針転換して、「丸太看板」を「○○」と見立てることにしました。

16時15分に終了。リアルとオンラインで参加下さった皆さん、プレゼンして下さった金井さん、山なおさん、神山さん、準備運営にご尽力下さった風間学長、皆さん、ありがとうございました。

詳細はこちら▶



第66回 本屋ときがわ町 v.2 を開催しました



2024年9月15日(日)第66回本屋ときがわ町を開催しました。ときがわ出身と、東松山出身の若い男性2人がご来店。その後、金井さん(比企大23秋)が、ご家族と一緒に来て下さいました。ありがとうございます!

筑波大学附属坂戸高校2年生のFさん、Kさんが来てくれました。「経営」「リーダーシップ」に

興味があり、比企大の説明会に参加してくれました。日本の「従業員エンゲージメント」が世界一低いことに問題意識を持ち、キャリア教育や企業の受け入れ態勢に関心があるそうです。素晴らしい!

そして、「ときがわカンパニー通信、毎月読んでます!」という方が来て下さいました。別所在住の方で「NONIWAの青木さん達(比企院卒)も存じ上げてます。キャンプ場を見て、今日も人が来て

る~!!と、嬉しくなってます」とのこと。嬉しいですね! ありがとうございます! 神山さんも来てくれました。ありがとうございます!



●10時30分~ 比企起業大学説明会スタート!

高2のFさんからの質問「(起業や経営に必要な)自主性、積極性を身に着けるために、高校生の時から、できることって何だと思えますか?」参加者の大人たちが、自分の経験を踏まえて、話をしてくれています。Fさんから「大学に行ったら、起業もしてみたい。今志望している大学は、学生をサポートしてくれる。そこに向けて、今から準備していきたい」と。素晴らしい!頑張り!

高2のKさんからの質問「仕事で、大切にしていることがあるはず。それが生まれたきっかけは、何ですか?」うおー!いい質問するな~!と、どよめく大人達。

最期に、各自が感想を一言。高2の二人からは「自分のこれから進む道の中で、小さな原石があれば拾ってあげたいなと思える時間になった」「アットホームな場所だと感じた。そういう場所だけ



編集後記

9月下旬、ときがわ町の梶平で、町民と移住希望者の交流会に参加してきました。梶平の道端に咲いていた曼珠沙華。すーっと伸びて、気づくと赤〜く咲いて満開になっているお彼岸のお花。咲く前に、草と一緒に刈られずに本当に良かった!と、毎年思います。そして翌週にはあっという間に花が終わってしまう。この通信が新聞に折り込まれる頃には、開花の時期を過ぎていのでしょうかね。

こんなふうには儂い(はかない)からこそ美しいものってあると思います。①お祭りの打ち上げ花火 ②秋の山の紅葉 ③流れ星 ④ホタル ⑤真っ白に漂っては消えてしまう雲海なんかもそうですね。



らこそ、小さな起業が実現しているんだろうと思った」とのこと。感想も素敵!ありがとうございます!

高橋さんが、しるし士本をご購入下さいました。「たまたま本屋に来たら、こんな素敵な出会いもあって」と、比企起業大学の説明会(というより意見交換会)への嬉しいコメント。いつもありがとうございます!



比企起業大学意見交換会に来てくれた、藤原さんご夫妻。高校生たちとの意見交換を通じて、お二人の新たな一面も知ることができました。ご参加ありがとうございました!

意見交換会後に、残っていた学生のお二人から、風間学長に追加の質問です。「起業すると、凄く忙しいイメージがある」「モチベーションが下がった時は?」など、私、関根と、ユカさんも加わって、意見交換が始まりました。

比企院3期生のメグミさんも来てくれました。メグミさんは、イギリス人のご主人と、ときがわ町が「Goldilocks」、つまり、「ちょうどいい」のが、気に入って移住。ヤギ牧場を運営しています。自身が作っている「布ナブキン」についても、説明してくれました。

午後、お客さんがいない時に、ユカさんと、民俗学の話で駄弁ってたら、どどん面白い話になってきました。「フセギの裏にある人間の強い欲」「祭りで、集まり飲み食いする」「ケケガレハレ」「道祖神は、夫婦和合・子孫繁栄・五穀豊穰・商売繁盛を願っている」「山の神を向く男性器」などなど…

15時過ぎ、ユカさんに手伝ってもらって撤収作業。皆さん今回もどうもありがとうございました! 毎月第3日曜日「本屋ときがわ町」は、初めてのお客さまも、ふら〜と来て本を見てご購入いただける場所です。次回、10月20日(日)も、楽しみにお待ちしております♪

次回、10月20日(日)も、楽しみにお待ちしております♪



ときがわ町や周辺にお住まいの方なら分かると思います。①~⑤は、すべて、「比企郡ときがわ町」で鑑賞できます! 都会の人に自慢できますね。

その対極に、長く続いているからこそ美しいものってありませんか? 本紙で紹介している「まるキャンプロジェクト」が、今年の1本目の丸太看板の建立を皮切りに、長い間人々に受け継がれることになれば、それに関わる人々の「魂」や「熱意」が、後世に「継承」され、まさに式年遷宮のように、その営み自体が美しいものになるのではないのでしょうか。

<そらとときの本・藤原あいか>



◀「そらとときの本」のご紹介・お問合せ先



結果報告

比企起業大学「応援団員」募集に関して

お陰様で、応援団員チケットも無事、販売期間(8月28日~9月28日)が終了しました。その結果をご報告します。

- 法人応援団員 11社様
- 個人応援団員 4名様
- 一般応援団員 28名様

丸太看板 最初の1本目

応援金額の総額は、80万円となりました。そこから、NFT発行サイト(HEXA)への手数料20%(16万円)と、入金後の消費税10%(8万円)を支払った残りの金額(56万円)を、第1本目の丸太看板作りに活用させていただきます。丸太看板を一本建てるのに、約40万円がかかる予定ですので、余った分は、来年の2本目に向けてプールをしていきます。本当に、皆さんのお陰です!ありがとうございます!

●●●●●●●●●● 今後のまるキャンの予定 ●●●●●●●●●●

今後の予定は、以下の通りです。

24年11月10日(日) 午前~午後 まるキャン「伐採祭り」の実施

ときがわの山で、来年以降の丸太看板に使う木を切り倒す。

24年12月8日(日) 午後 まるキャン「コネコネ祭り」の実施

看板立て地に、セメントで基礎をつくる。

25年1月25日(土) 午後 まるキャン「看板上棟祭」の実施

山伏さんによる御祈禱後、丸太看板を立てる。

●●●●●●●●●●

2025年1月に1本目が建った後、2045年には20本の丸太看板が立ち並ぶ予定です。2046年には、式年遷宮のように、20年経った1本目の丸太を新しい木に変えていきます。そうすることで、森林の木の循環、木の地産地消を推進していきます。更に丸太看板は、2本のときがわ産ヒノキ(樹齢60年ほど)を使います。この2本の丸太看板を「夫婦」に見立て「双体道祖神」のように、「夫婦和合・子孫繁栄・五穀豊穰・商売繁盛」を願って、山伏さんに御祈禱してもらいます。



動画はこちら
QRコード

これら「夫婦(双体)道祖神」を模した看板が、比企ら辺に20本立ち並ぶことで、この地域の「古き良きもの」を守る「ゆるやかな結界」を作っていきます。

今を生きる私たち人間だけの力では、比企起業大学を、100年続けることは難しいと思っているので、神様・仏様のご加護を得ながら、地域に根差した活動を続けていけたらと願っています。「え~!?何かの宗教なの~?」と感じる方もいるかもしれませんが、地域に昔から続く伝統や、氏神様、仏様、ご先祖様を大事にする信仰を、守ってあげたいいな~、と思っています。

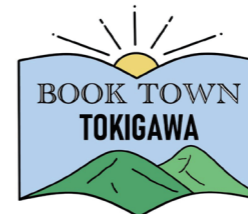
私達が過去の方々を大事にしなければ、未来の方々も、私達を大事には思ってくれないでしょうし、私達が死んだ後、比企起業大学を続けていくことはないでしょう。このあたりについては「比企起業大学が、100年続くために」という動画で説明しております。もしよろしければご覧ください。(動画は上の二次元バーコードから▲)

こういった息の長い事業に取り組むことができるのも、皆さんの応援のお陰です。皆さんのご期待に応えられますよう、そしてこういう活動が一過性で終わらぬよう、きちんと後に続いていくよう、仲間達と共に、精一杯頑張っていく所存です。これからも皆さんの変わらぬご支援の程よろしく願います。このたびは応援いただき、誠にありがとうございます。 比企起業大学・大学院 総長 関根雅泰

第67回 本屋ときがわ町 v.2 を開催します

出店者の募集をしています

2024年10月20日(日) 10時~15時
ときがわ町役場前の起業支援施設 iofficeにて



本屋ときがわ町に、この「ときがわカンパニー通信」をご持参の方は、関根の販売する「しるし士本の文庫or新書」を1冊プレゼント! 比企起業大学・総長の私が、「大切な」「参考になる!」と線やメモを記入した「世界に1冊しかないしるしの入った本」です。ビジネスの参考にいかがですか? (種類によっては、しるしの入っていない本もございます)

ときがわ町起業支援施設 iofficeでの「有料起業相談」のお申込みについて

「ときがわカンパニー」のブログに、「起業相談用:代表 関根の大まかなスケジュール」が出ています。そちらをご確認の上、「フォーム」からお申し込みください。24時間、365日いつでもお問合せ可能です。1回1時間で料金は3,300円、比企起業大学関係者・ときがわ町民は1,100円を頂戴いたします。

